HIROSHIMA UNIVERSITY HOSPITAL

広島大学病院ニュース

Hiroshima University Hospital Medical-Dental Liaison News

No. 12
2008. 3

広島大学病院

インタビューしました！

木原康樹 教授

2008年1月1日付けで当院循環器内科長に就任された木原康樹（きはらやすき）先生にインタビューしました。

先生は広島県のご出身で35年ぶりの里帰り。これまで関西を中心に心臓病の診療・研究を行ってこられ、この分野での第一人者として注目されています。 循環器内科は内科部門の横断的（臓器別）診療科として出発しました。

新しい指導者を迎えた循環器内科スタッフ

**木原先生に質問です。
当院の循環器内科診療に求めるものはなんですか？**

着任して、豊富な人材、優秀な頭脳に溢れていることに勇気づけられました。この若い人たちにシステムを与え、大胆な方向性を示すことができれば、大きな力が生まれると確信しています。大学病院は教育と研究の場でもあります。突飛な事柄からではなく、ひとりひとりの患者さんを細部まで診させていただき、個々に相応しい最新の治療を施すこと、そしてその結果を的確にまとめる術を教えることに徹してゆきます。それによってこそ新たな発見・情報の発信も可能となります。患者さんに納得と安心、地域の先生に連携と協力を提供できる医師が、研究においてもすばらしい成果を挙げます。診療と教育と研究は相反するものではなく、むしろお互い切磋琢磨する関係にあります。そのことの実践を目指しています。

患者さんとのコミュニケーションは
診療の基本
笑顔で回診される木原先生に
患者さんもうれしそう

**次に、当院にどんな診療や研究を
取り入れたいですか？**

わが国の人口高齢化に伴い心臓血管病は今後確実に増加してゆきます。他の病院では施しようのない重篤な心不全患者さんの治療、とりわけ心臓血管の再生医療に力を入れたいと考えています。前任地であった神戸市立中央市民病院・先端医療センターでの先駆的臨床経験を生かすことができると思います。もう一つは、心臓血管病の予知・予防です。病気を発症する以前、すなわち「病気に成りかけのひと」を診断する技術が求められています。幸いマルチスライスCTなど、それを実現できそうな診療技術が見えてきています。それらを有効に活用し、病気の一歩手前で患者さんを助ける医術をやってゆきたいと思っています。

康樹術を伝授かなぁ～？
循環器内科の若手医師には、
鋭い質問が次々と～

木原康樹先生から
心臓血管病の予知・予防のワンポイント

- ぜひとも禁煙しましょう。
- 7時間以上の十分な睡眠をとりましょう。
- テレビを消してこまめにからだを動かしましょう。

クリスマスイルミネーション点灯式

2007年11月、財団法人緑風会より構内にクリスマスイルミネーションを設置していただきました。
その設置を記念してイルミネーションの点灯を、患者代表と病院長にしていただきました。
イルミネーションが設置された場所を「きらめきの森ガーデン」と名づけました。

イルミネーションを寄贈いただいた財団法人緑風会の皆さま

患者代表と越智病院長による点灯式

第14回ロビーコンサート

平成19年11月26日　第14回広島大学病院ロビーコンサートが開催されました。

このたびのコンサートでは、プリマドンナとして世界の檜舞台で活躍中のオペラ歌手中丸三千繪さんと、ピアニスト菊地真美さんをお迎えして行われました。

当日、中丸さんは、少し体調が悪かったと言うことでしたが、アヴェマリアを始め全9曲を熱唱。ロビーをぎっしりとうめた250人の患者さんは、ディーヴァ＝歌姫と称される彼女の暖かくのびのある歌声に、感動を覚えていらっしゃいました。

中丸三千繪さんと菊地真美さん

中丸三千繪さんの歌声がロビーに響きました

中丸三千繪さんと息の合った演奏をされる菊地真美さん。
曲目はその場の雰囲気で

中丸三千繪さんとは
ご友人でもいらっしゃる
越智病院長によるあいさつ

中丸三千繪さんの素敵な歌声に鳴り止まない拍手

ボランテイアで駆けつけてくださった中丸三千繪さんに
病院長より感謝状が贈られました。

鳴り止まない拍手に一曲、
熱唱してくださいました。

第21回クリスマス会

〈写真1〉

〈写真2〉

〈写真3〉

2007年12月18日、第21回目のクリスマス会が、病院ロビーで行われました。

はじめに、大学病院の保育園「たんぽぽ」の子どもたちと保育士さんによる歌と踊りが披露されました。(写真1)
かわいい園児たちの歌と踊りに会場は、笑顔で満たされました。(写真2)

続いて院内学級で勉強している小学生と中学生の皆さんによります演奏と合唱を披露していただきました。(写真3)

大学病院には、小・中学校の生徒さんが、入院中でも勉強が続けられるよう院内学級を開設しております。

〈写真4〉

〈写真5〉

〈写真6〉

最後は、霞地区の学生音楽サークル「ダルセーニョ」によるクリスマスコンサートです。クリスマスソングをピアノ、フルートで演奏していただきました。(写真4)

患者代表から、ダルセーニョの皆さんに花束が贈られました。(写真5)

クリスマス会の前日、広島工業大学の学生さんが、手作りのクリスマスリースをサンタクロースの姿をして、子どもたちに届けてくださいました。子どもたちは一足早いサンタさんの訪問に、とても喜んでいました。広島工業大学の学生のみなさん、本当にありがとうございました。(写真6)

「肝疾患相談室」が開設されました。

肝疾患対策推進の一環として、患者、家族などの不安や疑問に応えるため、平成１９年１２月６日、広島大学病院内において広島県肝疾患診療連携拠点病院　肝疾患相談室が開設されました。

相談室電話：082-257-1541
肝疾患相談：http://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/kanensodan/index.html

区　分	相談時間等	相談方法	担当者	相談内容
一般相談	10：00～16：00 (12:00～13:00を除く)	電話 面談	相談員 (看護師)	情報提供 治療以外の相談等 面談は予約制
専門相談	一般相談後，必要に応じ実施	電話 面談	相談員 (医師)	専門的な医療の相談等 面談は予約制 一般相談後に受付

相談に対応されている消化器内科長
茶山一彰医師と相談員の福田ムツ子看護師

広島県内初の脳死者からの臓器提供による腎移植を実施

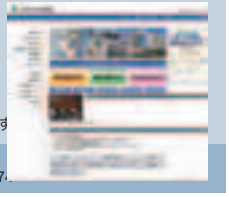
２月５日の当院での記者会見
左から、田代医師、大段医師、越智病院長、板本医師、県立広島病院副院長

2008年2月5日、広島県内では初めて脳死者からの臓器提供による腎臓移植手術が当院で行われました。

移植手術５分前の手術室

移植チームによると、移植患者さんの経過は順調で、移植できたことをとても喜んでいらっしゃるそうです。また、患者さんとご家族の方は「臓器を提供してくださった方をはじめ、ご家族の皆様に感謝申しあげます。この場を借りてお礼申しあげます」と語られました。

http://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/
広島大学病院のホームページ
分かりやすく見やすいページづくりを心がけていこうと思いますので，引き続きご愛顧のほど，よろしくお願いいたします



ご意見やご感想を下記へお願いいたします。
広島大学病院 広報委員会（秘書室広報担当）〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号 Tel 082-257-5555 Fax 082-257-507

地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。
E3PA（環境保護印刷推進協議会）シルバー認証

08033